

ネブカドネツアルが見た巨大な像の**正夢** →終末論的預言(神が予見し、将来、確かに実現する預言)

▶ダニエル書 2 : 31~36 →ネブカドネツアルの夢は「終わりの日に起こること」を預言した。

王様(→ネブカドネツアル 2 世)、あなたは一つの像を御覧になりました。それは巨大で、異常に輝き、あなたの前に立ち、見るも恐ろしいものでした。それは頭が純金、胸と腕が銀、腹と腿が青銅、すねが鉄、足は一部が鉄、一部が陶土でできていました。見ておられると、一つの石(→マタイ 21 : 42、マルコ 13 : 1、2、ルカによる福音書 20 : 17、エフェソの信徒へのてがみ 2 : 20、ペトロの手紙一 2 : 4)が人手によらずに(→メシアが神によって)切り出され、その像の鉄と陶土の足を打ち砕きました。

鉄も陶土も、青銅も銀も金も共に砕け、夏の打穀(→脱穀、麦打ち)場のもみ殻のようになり(→その石(=メシア)は過去の諸王国を砕き、砕け散った王国の破片は)、風に吹き払われ、跡形もなくなりました(→異邦人が支配する時代が終わった)。その像を打った石は大きな山となり、全地に広がったのです。これが王様の御覧になった夢です。さて、その解釈を(私たちは王様の前で)いたしましょう。

巨大な像の**正夢**(ダニエル書 2 章) : 人間の視点から見た姿 ⇔ 神の視点から見た姿 : 四頭の獣の幻(ダニエル書 7 章)

頭 : 純金 (Au, K24)	比重 19.32
	▼
胸と腕 : 銀 (Ag)	10.50
腹	▼
青銅 (Cu + Sn)	8.96
腿	▼
下部に行くほど軽く、脆弱で不安定で 価値の低いものになっている→	▼
すね : 鉄 (Fe)	7.87
	▼
足と足指 : 鉄と陶土(粘土)の混合	—



見かけは巨大だが構造が脆く不安定
(図: <http://www.wordexplain.com>)

バビロニア王国 (BC625~539)
(絶対専制君主国家 = 王が統治の全権能を所有)
ナボポラッサルによりメソポタミア南部のバビロニア(カルデア)を中心に建国(BC625)され、アケメネス朝ペルシアのキュロス 2 世によって征服(BC539)されるまで、地中海沿岸地域に至る広大な領土を支配した。

メディア・ペルシア (メディアを含むペルシア帝国)
(立憲国家、以下同) (BC539~331)
BC539、ペルシアのキュロス王 2 世(在位: BC559~530)は、オピスの戦いで新バビロニア帝国最後の王ナボネドス(在位: BC556~539)率いるバビロニア帝国を滅ぼす。

ギリシア王国 (BC331~168)
BC331、ガウガメラを主戦場としてギリシア北部山岳地帯マケドニア王国のアレクサンドロス 3 世(大王、BC336即位20歳)とアケメネス朝ペルシアが衝突し、アレクサンドロスが大勝(ガウガメラの戦い)、アルベラの戦いでガウガメラの時と同じくダレイオス 3 世(在位: BC336~330、逃走中にバクトリア総督のベッソスに殺害される)は敗走、ペルシア制圧をした。

ローマ帝国 (BC168~AD476)
BC168、第三マケドニア戦争でローマの将軍アエミリウス・パウルスがマケドニア王ペルセウスを決定的に撃破した(ピドナの戦い)。すねが二本あるように、ローマ帝国はやがて東と西に分かれる。

分裂諸国→利害や政策により成り立つ脆弱な連合組織
AD476、ゲルマン人などの侵攻に晒された西ローマ帝国は、急速に統治能力を失い、ローマの傭兵隊長でゲルマン人のオドアケルが皇帝ロムルス・アウグストゥルスを退位させ、滅亡を迎えた。…他…

【参考】バビロニア帝国、メディア王国、ペルシア王国、ギリシア王国とする説もある。

【参考】古代ローマ帝国はAD395年に東西に分裂した後、西ローマ帝国はAD476年に、東ローマ帝国はAD1453年にオスマン帝国によって滅ぼされた。

▶ダニエル書 2 : 37~45 →「歴史(世)の真の支配者は天の神である」とダニエルは訴えた。

王様、あなたはすべての**王の王**(→絶対専制君主)です。天の神(→創世記 24 : 3、7、ダニエル書 2 : 18、19、28、44、ヨナ書 1 : 9、ヨハネの黙示録 11 : 13、16 : 11)はあなたに、国と権威と威力と威光(→王国と権威と力と栄誉)を授け(→イザヤ書 45 : 1~4、エレミヤ書 27 : 5~7、ローマの信徒への手紙 13 : 1 参照)、人間も野の獣も空の鳥も、どこに住んでいようとみなあなたの手によだね、このすべてを治めさせられました。すなわち、あなたがその金の頭なのです。あなたのあとに他の国が興りますが、これはあなたに劣るもの。その次に興る第三の国は青銅で、全地を支配します。第四の国は鉄のように強い。鉄はすべてを打ち砕きますが、あらゆるものを破壊する鉄のように、この国は破壊を重ねます。足と足指は一部が陶工の用いる陶土、一部が鉄であることを御覧になりましたが、そのようにこの国は分裂しています。鉄が柔らかい陶土と混じっているのを御覧になったように、この国には鉄の強さもあります。足指は一部が鉄、一部が陶土です。すなわち、この国には強い部分もあれば、もろい部分もあるのです。また、鉄が柔らかい陶土と混じり合っているのを御覧になったように、人々は婚姻によって混じり合います。しかし、鉄が陶土と溶け合うことがないように、ひとつになることはありません。

この王たちの時代に、天の神は一つの国を興されます。この国は永遠に滅びることなく、その主権は他の民の手に渡ることなく、すべての国を打ち滅ぼし、永遠に続きます(→メシア王国 : 永遠に続く神の不滅の王国)。山から人手によらず切り出された石(→メシア)が、鉄、青銅、陶土、銀、金を打つのを御覧になりましたが、それによって、偉大な神は引き続き起こることを王様にお知らせになったのです。

この夢は確か(→正夢)であり、解釈もまちがいございません。」

【参考】古代世界における「夢」の意義

古代世界において、夢は神々がなさろうとしていることについての情報を伝える預言の手段と信じられていた。このようなことから、預言者や王たちの立場からすれば、その解釈に対して、更に真剣さが求められ、与えられた夢は神の恐れ多いお告げ（啓示の手段）として、大切に受け止められ、解釈されたと思われる。

【参考】メシア預言

タイトル(書名)		章:節 聖句 [検索対象総数: 4 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K	イザヤ書	28:16 それゆえ、主なる神はこう言われる。「わたしは一つの石をシオンに据える。これは試みを経た石／堅く据えられた礎の、貴い隅の石だ。信ずる者は慌てることはない。	
S	ローマの信徒への手紙	9:33 「見よ、わたしはシオンに、／つまずきの石、妨げの岩を置く。これを信じる者は、失望することがない」と書いてあるとおりです。	
S	ローマの信徒への手紙	10:11 聖書にも、「主を信じる者は、だれも失望することがない」と書いてあります。	
S	ペトロの手紙 I	2:6 聖書にこう書いてあるからです。「見よ、わたしは、選ばれた尊いかなめ石を、／シオンに置く。これを信じる者は、決して失望することはない。」	

▶イザヤ書 28 : 16 それゆえ、主なる神はこう言われる。「わたしは一つの石をシオンに据える。これは試みを経た石／堅く据えられた礎の、貴い隅の石だ。信ずる者は慌てることはない。

- ・ 試みを経た石 使用に十分耐えられる試験済みの石
- ・ 堅く据えられた礎の石 要となる不動の石
- ・ 貴い隅の石 貴い＝尊い：最もすぐれた石
- ・ 信ずる者は慌てることはない これらの石（メシア）を信ずる者は、絶対的な安心がある。

→詩編 118 : 22～23

家を建てる者の退けた石が／隅の親石となった。これは主の御業／わたしたちの目には驚くべきこと。

→メシアとして遣わされた一つの石が家を建てる指導者たちによって拒絶され、見捨てられた（十字架の死）にもかかわらず、神はその方を死から蘇らせて、神の家においてなくてはならない永遠の礎石とされた。

→マタイ 21 : 42、マルコ 13 : 1、2、ルカ 20 : 17、I コリント 10 : 4、エフェソ 2 : 20、I ペトロ 2 : 4

▶神によって選ばれた一つの石は、ある者にとっては「つまずきの石」「妨げの石」となる。しかし、この石に信頼する者は、決して失望することはない。時には失望することがあるかもしれないが、パウロやペトロが記しているように、「主を信じる者は、決して失望することはない（失望に終わることはない）」のである。「石」であるイエス・キリストの下にしっかりと留まることで、ぶれることのない信仰者となって行くことが出来るのである。

▶創造当初、最初の言葉を発したお方は、人類の歴史を閉じる言葉も持っている。

→すべては、神の御手の中にあるので、我々は希望を抱いて生きることが出来る。